

感染症情報 9月25日～10月1日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①咽頭結膜熱	836例(堺市	90例)
②感染性胃腸炎	545例(堺市	71例)
③溶連菌感染症	538例(堺市	59例)
④手足口病	126例(堺市	15例)
⑤ヘルパンギーナ	71例(堺市	6例)

府下306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 2,023例(堺市 241例)

報告数による順位である。前週比23.1%増の2,289件の報告であった。咽頭結膜熱が府下で20%増、定点当たり3.55→4.24であった。堺市で前回82例→今回90例。定点当たり4.32→4.74であった。感染性胃腸炎が府下で前週比12%増、堺市で前週52例→今回71例であった。溶連菌感染症が府下が38%増、堺市で前週39例→今回59例。手足口病が府下で38%増、堺市で前回5例→今回15例であった。ヘルパンギーナが府下で42%増、堺市で前回1例→6例であった。

インフルエンザが府下で前週1,534例→2,023例で32%増、堺市で前週125例→今回241例は93%増であった。定点当たり大阪府は5.03→6.61に、堺市は4.31→8.31に悪化。

府下306医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 2,148例(堺市 276例)
大阪府定点 7.02 堺市定点 9.52

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
66	153	212	458	157	160	183	218	168	202	171	2148

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週2,677例→今回2,148例は20%減、定点当たり8.78→7.02であった。堺市は前週310例→今回276例で11%減、定点当たり10.69→9.52であった。減っているが、大阪府のブロック別でまたワーストに戻った。

麻疹や風疹の報告はなかった。